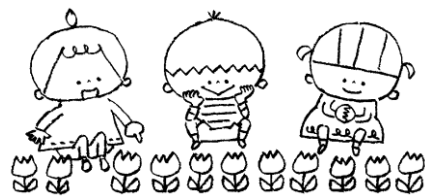




ちよだの保育



平成30年7月13日(金) 認定こども園 大阪千代田短期大学附属幼稚園

本園では、四季折々の草花や小虫たちとのかかわりを深め、その生命に感動し、おもしろさや発見を表現しあい、生命の輝きや痛み、悲しさなどにも共感してゆきます。こどもは新しい発見が大好きです。たくさん見て触れて、感動したことや楽しいことをこどもたち自身のからだを通して表現することで、こどもたちの心が耕され、やさしさや思いやりの気持ちが育っていくのを実感します。そういった『身ぶり表現』の時間を通して、生き物や草花の気持ちを想像し、自由に表現したり、ことばにすることでクラスみんなの共通の話題になり、さらに**興味・関心**を持つきっかけになります。

知りたい気持ちを大切にします

観察

興味をもったものを「もっとよく知りたい」と思うことで、こどもたちの**思考力**が高まります。集中してそのものをよく観察する力がついたり、図鑑で調べることにつながっていきます。そういった力は、小学校に入学した後も、先生から授業内容を受けるだけでなく、授業内容に興味をもって聞く『意欲的な学び』に活かされます。

自己表現できるこどもに・・・

幼児期に“身ぶり表現”・“製作”・“絵画”・“歌”など様々な表現活動を通して、『自己表現する力』の基礎を育てます。その中で、**自信**や**意欲**などが持てることを大切にします。5歳児になると、家で聞いてきたことや調べてわかったことをみんなの前で発表するような場面も見られます。ともだちの思いや意見を聞くことは『**コミュニケーション力**』の土台を育みます。相手を思いやったり、自分の気持ちをわかってもらえる喜びをたくさん味わえるので、こどもたちは“身ぶり表現”の時間が大好きです。本園では、この自己表現する力を、小学校で発揮できるよう、日々の取り組みを大切にしています。



自ら学ぶことの土台を育てます

いろいろな環境の中で、自ら興味・関心を持つことで、こどもたちの主体性が育ちます。こどものところが動き、感動したことは学びの土台となってこどもたちの中に培われます。

2月には、『劇づくり』として、文学を通してその世界を身ぶり表現しながら受けとめ、想像していきます。劇づくりの中で、『自立心』『協調性』『思考力の芽生え』『自然との関わり・生命尊重』『数量・図形、文字等への関心・感覚』『言葉による伝え合い』『豊かな感性と表現』など、新幼稚園教育要領でいわれている「幼児期に育てほしい姿」を総合的にとらえ、こどもたちの**好奇心**や**想像力**を育めるように取り組んでいきます。

→ 興味の深まり

